

農業保存食料品製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	16~17	加工場内の清掃中、保冷库の上部を樽の上に乗って拭き掃除をしていて、終えて降りようとした際に右足かかとが引っ掛かりバランスを崩して後方に転倒して右手首を骨折してしまったものである。転倒時、近くに人はおらず他の2名は事務室内にいた。	58 9	1~
3	8~9	2階の更衣室で作業着に着替えたあと、1階の作業場に向かう階段（1階の下から3段目高さ約60cm）でつまずき、1階の床に自分の体の左肩付近から転倒した。	62	10 ~ 29
3	17~18	原料受入室にて、工場で使用する原料（さつまいも）の皮を剥ぐピーラーを清掃中、爪にはまった原料を取り除く為、高所で背がとどかないのでコンテナを二段積みにして作業していたところ、乗っていたコンテナが滑り、足場が崩れて後ろに転倒し、下にあったコンテナに腰を強打した。	58	10 ~ 29
4	11~12	茶業センターパッケージ室の資材置き場で小売茶を入れるダンボールを取る時、脚立を用い積んであるダンボールの上に登り、ダンボールを下におろして積んであるダンボールから降りようとして、脚立を踏み外して転落してしまい頭部と腰部を打撲した。	61	10 ~ 29
7	14~15	工場内において、中二階の床の清掃作業後、脚立から降りようとしたところ、脚立のネジが外れ、2mの高さから転落して負傷した。	41	50 ~ 99
7	10~11	工場第3倉庫内の15t地下タンク（L2.4m×W2.5m×H2.5m）に、清掃のためアルミ製の梯子をかけ2~3段降りたところ、12段梯子の下から5段目が折れ、折れた梯子	27	30 ~

		の上に尻から落下し受傷した。		49
7	10～ 11	工場内において、高さ180cm位のストックコンベアの箇所をきれいにして、降りるため右足をステンレス製のカバー部分にのせようとしたとき、滑ってしまい、右脇腹部を強打し負傷した。	50	30～ 49
9	9～ 10	当社製造野沢菜の塩漬けをコンテナ詰めをして（1コンテナ25袋30kg）をパレットに24コンテナ積み合わせ、ビニールラップでくずれないようにしばり、リフトにてトラック荷台に積み込みジョルダーを使用して移動400コンテナを積み込む、荷台の上で移動の時前に傾斜してあるが人手で押して移動する。その際、本人が足をすべらせバランスをくずし落下した。下はアスファルト高さ1.2～1.3m程だが、腰、脇腹を打ってしまった。何年も作業していることで油断があったのかもしれない。	39	10～ 29
10	15～ 16	事業所工場内に於いて、折り曲げた状態の脚立に乗って天井を雑巾を使って一人で掃除していた際、途中でバランスを崩して脚立が倒れてしまい、地面に落下し負傷してしまったもの。	57	1～ 9
10	10～ 11	缶詰製造工場の18?缶製造ラインに従事し、冷却作業を行っていた。冷却曹の通路（長さ5m、幅40cm）にいた時、殺菌冷却曹側を向き、かがみ込んだ時、後方の産業ロボットの防御フェンスにお尻部分を接触し押される形で冷却曹に転落し回転するローラーに右足を挟んだことにより右足のつま先部を骨折した。	48	100～ 299
11	15～ 16	片手に手提げとファイルを持ち、第二工場の階段を下りている時、バランスを崩し、手すりに掴まったが身体を支えきれず転倒した。階下に転がり落ちて（10段位）、頭と腰や背中を打った。	44	100～ 299
11	15～ 16	工場にて、午後に10分与えられる休憩中、加工場の外へ出て、2階にあるトイレに行き、給茶器のお茶を飲んで水分を補給した後、加工場に戻るために、階段を下りていた際、足を踏み外して左膝を床で打ち、骨折したものである。	67	30～ 49
11	9～ 10	凍結した魚の脱パン作業中に足場に足を掛けていたが、方向転換の際に足場を入れ替えようとしたところ、足場を踏み外して受傷した。	50	50～ 99

12	11~12	作業中、階段を降りようとして振り返った際、エプロンの裾を踏んでしまい、階段の1段目から転落し、右膝を負傷した。	52	100 ～ 299
12	10~11	漬け込み作業場A棟で、地下タンクの中の大根に塩を振っていたところ、足が滑って隣の地下タンクに落下し、左足を負傷した。	49	50 ～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html